

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

**事業所名**

愛の家グループホーム タートル

日付 平成 20年 4月 30日  
特定非営利活動法人

**評価機関名** ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験8年

評価調査員 在宅介護経験10年

[自主評価結果を見る](#)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

**1. 評価結果の概要**

**講評**

全体を通して(特に良いと思われる点など)

介護サービス事業の運営を全国展開している法人が直接経営しているホームで、『その人らしい生活の支援』という法人の理念を追求しながら、ホームの職員たちが独自に運営方針を考えてケアに取り組んでいる。以前の経営者から引き継いで再出発し、新しい体制がようやく整ってきたという、まだ新しいグループホームである。

大きな建物の二階部分に玄関があり、2つのユニットが中央の事務室を挟んで隣り合っている。事務室からは両ユニットを見ることができ、それぞれのユニットは協力しながら、同じ内容の行事や日課に取り組んでいる。

一方のユニットに利用者が集まって、リーダー職員を中心にゲームや体操を楽しんでいた。しっかり体を動かす中で、罰ゲームにお得意の炭坑節や童謡を歌う。歌ができない人は家族の自慢話などできることを頑張っている。利用者たちはお得意の歌や自慢を披露できて、満足したような笑顔をしている。職員が利用者一人ひとりの得意なことや能力を十分把握して、その力を引き出してあげている支援そのものだと思う。この他にも書や絵、家事手伝いなど様々な取り組みをしており、心身の機能維持、能力の発揮に力を入れている。

介護計画作成や記録方法には法人からの指示もあり、順序立てた計画作成、詳しくわかりやすい記録ができています。もう一つすばらしい点は、家族の協力が得られることである。ホーム側の設定により家族同士の交流ができ、家族会としての手助けを得て、『おはぎ作り』などの楽しい行事を催すことができています。利用者にとっても職員にとっても、とてもうれしいことである。

今後も一人ひとりの能力を生かす支援を続けながら、利用者が重度化しても居心地のいい場所であり続けられるよう、ケアの質について常に研修を積んでほしい。そのためにも、評価結果について職員間で十分話し合いをし、より良いケアを目指してほしい。そして、運営推進会議を大いに活用して、地域に根ざしたホームとなってほしい。

**特に改善の余地があると思われる点**

小学校や保育園の子供たちとの交流が少しずつ行われているが、『地域に溶け込んだホーム』となるための交流としては、具体的な取り組みを模索中の段階である。運営推進会議を大いに活用して、各種団体への働きかけ、地域行事への参加、ホームの見学など様々な企画を検討し、少しずつ実践していき、交流を深めてほしい。地域からホームへの支援要請をするだけでなく、ホームが地域に貢献できることも考えていきたい。

自主評価については現状に満足することなく厳しい評価をつけて向上心が見えるが、評価結果を全職員で共有することができていなかった。外部評価とともに、評価結果に対しどのようにしていけばより良いケアができるかを、全職員で十分話し合ってもらいたい。そして、職員間での勉強会や他のグループホームとの職員交流などを計画して、職員のケアの質を高めてほしい。

## 2. 評価結果（詳細）

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：理念の地域広報について具体策を検討中である。</p> <p>2、全体的に見て…：『その人らしい快適で穏やかな生活の支援、心を込めたサービス、地域の人々との触れ合い』という、法人の掲げた理念を追求していくことを目標に職員は仕事をしている。ホーム内の各所に理念を掲示し、パンフレットにも詳しく記載されており、職員や家族はいつでも目にすることが出来る。</p> <p>ホーム長はその中でも『地域との触れ合い』を望んでいて、地域の人々との自然な交流をするための具体策を模索中である。職員間での話し合いや他ホームとの情報交換、運営推進会議の活用などの中から、求める『地域の中のホーム』の形を探し出してほしい。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：理想を高く持ち、現状で満足はしていない。建物の構造上やむをえない面はある。</p> <p>2、全体的に見て…：利用者の居室からは山や公園の景色を楽しむことが出来る。広い室内にはタンスやベッドが備え付けられているが、さらに各自の家具や道具を置いて、その人らしい生活の場を作っている。その居室がリビングを取り囲んでいるので、職員が利用者一人ひとりの動きをよく見渡せる。また、両ユニットの中央に共通の事務室があり、ここからは両ユニットが見渡せる。職員が利用者の安全や行動を十分把握しながら、それに応じた対応するのに役立っている。また、ユニット間の移動や交流もしやすい。リビングに窓がなく、庭やベランダもないので、散歩や外出を十分取り入れたい。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：介護計画や記録、心身のケアについてよくできていると思うが、さらに向上を目指している点を要改善としている。</p> <p>2、全体的に見て…：十分なアセスメントを基に介護計画の作成・見直しなどを話し合っている。利用者の特徴や支援内容を職員間で共有できている。健康チェックなど記録は判りやすく身体ケアを確実にを行い、経歴を生かした心身の機能維持に努めている。レクリエーションの中や家事や趣味でその人の能力を発揮する場を与えてあげ、ほめてあげることで、利用者が充実感を持つことができている。現在は利用者の自立度が高いので、能力を生かす支援が利用者の活力を引き出しているが、将来レベルの低下により能力発揮の場がなくなっても充実した生活ができるように、一人ひとりの話を十分聞き取ることなどの寄り添ったケアも必要になってくることを考慮しておいてほしい。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	<p>1、自主評価について…：評価結果や評価の意義について職員間での共有がなかったこと、職員の研修については個人に任されていたことについて、職員間でよく話し合うことにした。</p> <p>2、全体的に見て…：利用者一人ひとりのケアについては会議や連絡ノートで意見交換を行い職員間での連携が取れているが、評価結果や評価の意義についての意識の共有ができていなかった。職員の研修のことに共に、職員間で十分話し合っ、ホームとしての勉強会や他ホームとの交流による情報獲得などにより、ホーム全体としてのケアレベルの向上を図ってほしい。また運営推進会議を活用することにより地域交流を深め、地域の人と利用者との行き来できる関係をつくっていききたい。家族会が成立して、家族の協力を得てうどん作りなど楽しい行事ができているのは素晴らしいと思う。</p>		